

平成23年度

当初予算

■ 財政課

☎(20)3003

平成23年度予算は、2月市議会定例会（3月22日閉会）で可決されました。一般会計の予算規模は、432億8,000万円です。また、8つの特別会計を合わせた予算規模は267億8,660万円となっています。

なお、平成22年度予算と比較すると、一般会計で23億1,000万円増（5.6%増）、特別会計で10億9,100万円増（4.2%増）となっています。

予算編成の基本姿勢

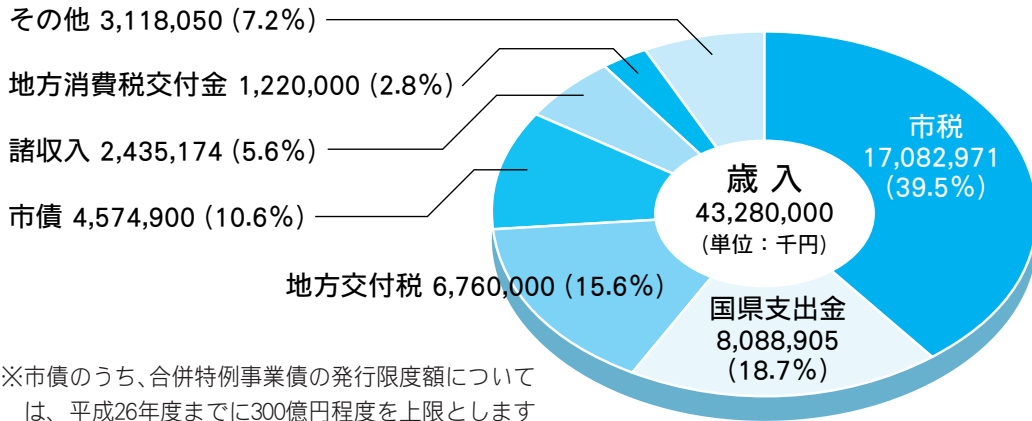
平成23年度予算は、「第1次総合計画中期基本計画」の推進、「平成23年度行政経営方針」の推進を基本に編成しました。

平成23年度 会計別当初予算

会計別		本年度予算額	前年度対比伸率
一般会計		432億8,000万円	5.6%
特別会計	国民健康保険事業（事業勘定）	131億4,990万円	3.6%
	国民健康保険事業（直営診療施設勘定）	3億1,580万円	3.5%
	公共下水道事業	32億3,140万円	4.0%
	農業集落排水事業	1億7,510万円	7.4%
	自家用有償バス事業	1億3,550万円	△5.4%
	介護保険事業（保険事業勘定）	87億1,130万円	8.0%
	介護保険事業（介護サービス事業勘定）	5,930万円	5.3%
	後期高齢者医療	10億830万円	△13.0%
計		267億8,660万円	4.2%
事業水 業会計道	収益的収入	21億7,709万1千円	10.0%
	収益的支出	20億9,357万7千円	1.0%
	資本的収入	6億2,583万3千円	△15.8%
	資本的支出	18億1,392万6千円	△6.0%
事業病 業会計院	収益的収入	7億9,751万2千円	4.4%
	収益的支出	7億9,751万2千円	4.4%
	資本的収入	1億5,371万3千円	△0.7%
	資本的支出	2億6,684万4千円	△15.9%

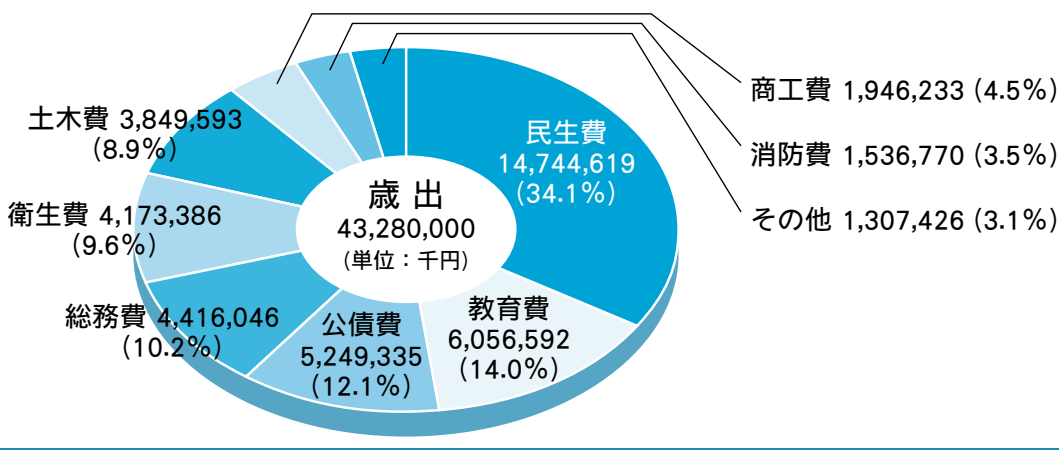
※今月号の記事は、平成23年3月22日（火）現在の情報を基に作成しています。東北関東大震災の影響で、記事によっては内容が変更になる場合がありますが、ご了承ください。

歳入



※市債のうち、合併特例事業債の発行限度額については、平成26年度までに300億円程度を上限とします

歳出



平成23年度の主な取り組み

地域の特色を活かした 快適なまちづくり

- 自主防災組織育成事業を引き続き行い、市民の防災意識の高揚を図ります
- 中心市街地活性化推進事業により、中心市街地の整備改善および商業などの活性化の一体的推進を図ります
- 高齢者または障がい者のみの世帯に対し、家庭ごみの排出を支援するため、ふれあい収集事業を行います

やさしくふれあいの ある健康福祉づくり

- 全額公費助成による子宮頸がん予防ワクチン接種、ヒブワクチン接種および小児用肺炎球菌ワクチン接種を実施します
- 老朽化保育園の解消と多様化する保育ニーズに対応するため、(仮称)あづま保育園を整備します
- 山形小学校区および常盤小学校区に、こどもクラブを開設します

- 障がい者福祉施設の利用者と近隣住民との交流や仲間づくりなどを行うため、障がい者とともにつくるまちづくり支援を行います

魅力と活力ある 産業づくり

- 増加傾向にあるイノシシ被害の軽減と地域の活性化に寄与するため、イノシシ肉加工処理施設整備および有害鳥獣対策の事業を行います
- 新卒未就労者、若年の不安定就労者や無業者などに対する適正・能力に応じた就労支援を行います
- 本市のイメージアップや地域経済の活性化を図るため、多種多様な資源の佐野ブランド化を推進します
- 佐野田沼インター周辺に産業団地を造成し、産業の活性化や雇用創出を図るため、佐野田沼インター周辺開発事業や企業誘致事業を実施します
- 観光協会や民間企業と協力し観光キャラバン隊を編成し、

- さわやか教育指導員を配置し、不安や悩みを抱えた児童生徒に対する教育相談、学校での活動支援を行います
- 今後も安全・安心な学校給食を提供できるよう、(仮称)南部学校給食センターおよび(仮称)北部学校給食センターを計画的に整備します
- いつでも安全で気軽に利用できる施設として、運動公園多目的球技場を人工芝グラウンドへ改修します

市民みんなのできる 夢のあるまちづくり

- 市民活動モデル町会支援事業により、町会の自主的な地域活動を促進、支援します
- 佐野短期大学や東京農工大が有する知的財産を有効活用するため、地域連携事業の推進を図ります